

やまのうち通信



第178号

令和4年2月20日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
Tel・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑フェイスブック QRコード



YAMANOUCHIJICHISHINKOKU

↑インスタグラム QRコード

おたがいさまネット「一人暮らしの見守り活動について」

年初から拡大傾向が続いている新型コロナウイルスの感染はなかなか収まりを見せません。身近な所での感染も伝えられ、厳しい寒さも加わって、とりわけ高齢者には萎縮した日々が続いています。何日も人と会わず、その間に体調の変化が起こることもあります。当地区においても昨年末から年初にかけて、2件の「孤立死」が発生しました。1例目は家の中で倒れておられるのを牛乳配達の方が目にして発見したもので、2例目は屋外で倒れておられるところをプロパンガス配達の方が発見したもので、2人とも既に亡くなっていました。2件とも出入りの業者の方の発見でしたが、この他にもデーサービスやヘルパーなどの福祉施設職員や、郵便や新聞の配達員の方が異変に気付くこともあります。「山内おたがいさまネット」では地域住民による見守り活動に加えて、これらの業者の協力は欠かせないものと考え、地域と業者の連絡網の整備を図っていきたく思います。



また今回2例目の方は年齢が75才以下でした。一人暮らし高齢者等巡回相談員による見守り対象者から外れており、孤立し易い状況にあったと思われます。体調の異変は年齢を問いません。



地域で気になる一人暮らしの方がおられたら、年齢を問わない見守りが必要と思います。「孤立死」は「誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死」と説明されていますが、一人暮らし高齢者の多くの方が身近に感じておられると聞きます。その様な不安を取り除き、安心して暮らしていけるように、「おたがいさまネット」で進める日々の見守り活動を粘り強く継続していきましょう。

地域マネージャー 三上智道

(協)里山の夢ファーム SDGsの取り組みを YouTube で発信しています



↑QRコード

庄原市のブランド米「里山の夢」を栽培している「協同組合庄原里山の夢ファーム」では、竹パウダーを使った堆肥を活用し、循環型農業に取り組んでいます。

この取り組みはまさに持続可能な農業ということで、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みそのものと言えます。そうした活動をしていることを消費者の方々にもっと情報発信しようということで、農作業の工程を動画で撮影し、令和4年1月ユーチューブに上げました。

こうした動画を見てもらうことで、安全安心な米作りをしていることを消費者の方々に見ていただき、里山の夢ファームへの理解と、作ったコメの販売促進につなげていくことを目指しています。

この動画は「里山の夢ファーム」ホームページ(パソコン・スマートフォン等)で見られます。また上に張り付けてあるQRコードから直接ユーチューブでも見ることができます。

(協)里山の夢ファーム

不登校・欠勤、引きこもりの一因として、ネット・ゲームの依存が問題となるなか、2020年4月、全国初の条例として香川県でネット・ゲーム依存症対策条例が施行されました（18歳未満が対象）。内容は「1日のオンラインゲームは平日60分まで、土日・長期休暇は90分まで」とか「スマホの利用時間は、中学生以下は午後9時まで。高校生は午後10時まで」「保護者は家庭でルールを作り、上記の順守に努めること」などが掲げられており、保護者が管理するように求めたものでした。

この条例には賛否あり、ただ制限するだけでなく、どれだけの時間どんな影響が出るのかを示さないと納得できないのではないかと、また家庭自体が機能していない場合、そのような話し合いさえも行われないのではないかとという意見も出ていました。

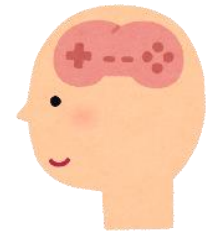
そこで平日のゲーム時間と、それに伴って生じる問題として、学業成績や仕事能率が落ちた割合が示されており、それによると1時間未満が5%、1時間以上で10%、6時間以上だと30%影響が出ている事が分かりました。また、元々、社会との関わりが苦手な引きこもっている場合、ゲームはやればやるだけすぐ成績に反映する事ができるため、それがあたかも周囲から認められたように思ってしまう怖さもあります。

ゲーム依存のマイナス面を紹介しましたが、ゲームは「悪」なのかというと、必ずしもそうとは言いきれません。中にはゲームの中の繋がりから、ゲーム内の仲間に相談し、引きこもりから社会復帰した方もおられると聞きます。その方は、親や知人の助言や説得には反発しなかったのに、ゲーム内の仲間との話は、不思議とストンと心の中に入ったそうです。いじめなどの人間関係の問題や引きこもりなど問題を、同じ背景を持つ人同士が対等な立場で話を聞く「ピアカウンセリング」の役割を、ゲームで繋がっている仲間が担ってくれたこととなります。

ゲームの中にも社会と同じように人との交流があり、その交流の中からお互い話し合う事で、人との繋がりを感じ、自分の居場所を見つけることができたと思います。そして自分の居場所がある安心感から、自分の事を省みる事もできて、最終的には社会復帰や不登校解消に繋がったのではないかと思います。いずれにしても新しい時代の新しい道具として、これからの私たちの暮らしにさまざまな影響を与え続けるものと言えるでしょう。

参考資料：NHK クローズアップ現代プラス「外出自粛の陰で・・・ゲーム依存は大丈夫？」

相扶の郷相談支援事業所 正畑 知里



投稿写真です！「安来のコハクチョウ」



写真撮影者 山内町 曾根淳治さん

3月の予定

- 8日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会
- 22日 ふれあい給食

※新型コロナウイルス感染防止の為、中止となることがあります。



NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に山内首藤経俊が登場！

現在 NHK で大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が始まっていますが、第二回目放映から山内首藤経俊が登場しています。

山内首藤経俊は山内自治振興区内にある甲山城を建設した山内首藤通資の5代前の祖先です。

経俊の母は山内の尼(やまのうちのあま)で、山内の尼は鎌倉幕府をつくった源頼朝の乳母でもありました。経俊は一時、源頼朝に弓を引き、頼朝から死罪を言い渡されましたが、山内の尼のとりなしで死罪をまぬかれ、その後頼朝に従った経緯もあります。



＜山内首藤経俊役の山口馬木也さん＞

山内首藤経俊は当時鎌倉に住んでおり、現在の北鎌倉に山ノ内という地名もあります。そこから1316年、山内首藤通資が現在の庄原市高野町郡山に地毘荘の地頭として移住し、1355年に弟にそこを譲り甲山城に移ってきました。

経俊は、父の俊通の菩提を弔うため、1160年現在鎌倉で紫陽花寺として有名な「明月院」を建立しました。

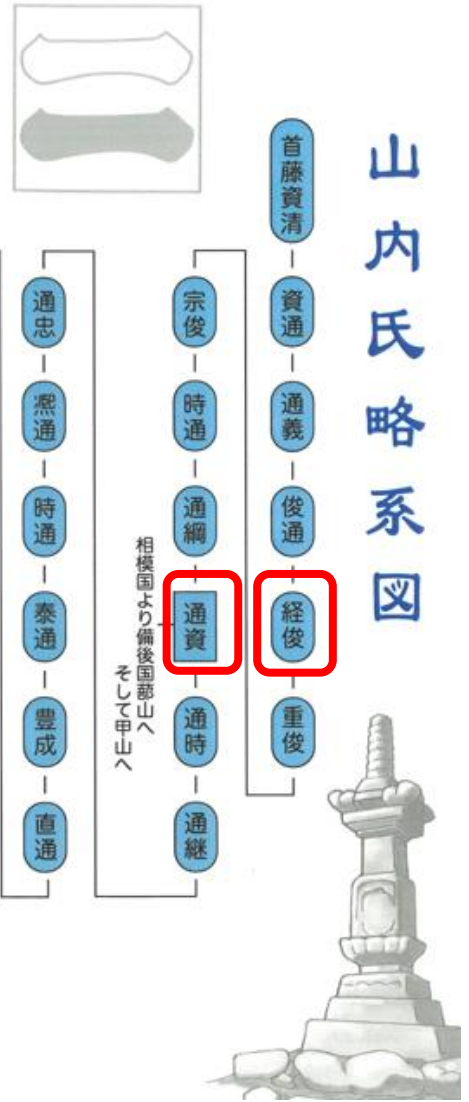
山内郷土史研究会のメンバーも数年前、鎌倉の山ノ内を訪れ、「明月院」も訪問しましたが、明月院では広島からの山内から来たということで、普段は入れないような場所も見させてもらい、茶菓の接待などもいただき、すごく丁寧なご対応をいただきました。NHKの大河ドラマに山内氏の祖先が出ることは自治振興区としても誇らしく、うれしい気持ちでいっぱいです。

市役所ロビーでのろし写真展が開催されました！



1月17日(月)から1月24日(月)まで庄原市役所ロビーにおいて、昨年11月23日に開催したのろしリレーの写真展示が行われました。

今回は5つの自治振興区が出展し、それぞれの地域で行ったのろし上げの状況を写真で紹介したものです。山内自治振興センターに掲示していますので、お越しの際にご覧ください。



山内氏略系図

多賀山氏からむかえる

山内首藤家文書

参照

おくりもの

1/13～2/10



◆香典返し

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 三日市町 山崎 幸江様 (故 塚本満雄様) | 山内町 奥 茜様 (故 雅博様) |
| 山内町 宗清 里枝様 (故 忠義様) | 尾引町 曾根 敬史様 (故 福美様) |
| 山内町 久保 賀彰様 (故 恒代様) | |

ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。
山内地区社会福祉協議会

定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

【児童の皆さんからのサプライズ】



山内小学校の3,4年生の児童の皆さんが総合学習の一貫で山内リサイクルマーケットに来場される方々へ、と前はサプライズで花の苗をたくさんいただきました。じつはこの冬も準備下さっていたようです。今回は大根、人参、小松菜でした。寒い中収穫して下さった姿を思い浮かべると、胸が熱くなりました。

このコロナ禍、空き家提供者の方々の帰郷が困難なことや、マーケットの開催も延期となり子どもさんたちのご厚意を、まだ畑を作られていない移住して来られたご家庭にお届けさせていただきました。

心のコもったサプライズ、本当にありがとうございました。

【山内てごおし隊出動！！】



1月は3軒のお宅にて延べ27名の皆さんと荷物整理、ゴミの分別、清掃などを行いました。提供いただきました有効利用物品はコロナ感染状況が落ち着き次第、処分費用の充当も兼ねリサイクルマーケットを開催させていただきます。ご協力いただきました皆様、情報をお寄せいただきました皆様ありがとうございました。

【家族のカレンダー作成します！！】

なかなか終息しないコロナ感染。
なかなか会えない遠く離れた家族の皆さん。

そこで！！
つなぐ笑顔のカレンダー！！
お作りします。昔の写真やデータからでも。
1セット1200円
(4月始まり)

代金は全額定住促進事業に使わせていただきます。
見本展示 受け付けは
自治振興センター事務室にて



【餅花飾って春を呼ぶ！！】

昨年『ねきの野山が面白い』で作りました『餅花』（五穀豊穡、家内安全を念じ平安時代から作られてきました日本独自の文化です。）各家庭で作っていただけるよう準備します。

【お渡しする期日・セット】

2月25日13時～16時（取り置き可能）
やなぎ1本、紅白のお餅、作り方の説明書
【事前申し込み 2月25日12時までに】

1セット500円
代金は全額定住促進事業に使わせていただきます。
見本展示 受け付けは
自治振興センター事務室にて



地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実



投稿写真を募集しています！

やまのうち通信では、地域のみなさまからの投稿写真を募集しています。投稿希望の方は、写真データを山内自治振興区へお持ちいただくか、「yamanouchi.jichi@gmail.com」へお送りください。